問18　次のプログラム中の　　　　　　に入れる正しい答えを、解答群の中から選べ　T

　　関数MatchCounter(文字型の配列：SorceText, 整数型：Textlen, 文字型の配列：Pattern, 整数型：Patlen)は、長さがTextlenの文字列SorceTextの中で、長さがPatlenの文字列Patternと一致する部分の文字列(以下、部分文字列という)の出現回数を数える。ここで、０＜Patlen≦Textlenである。

1. MatchCounterの処理手順は、次のとおりである。
   1. 一致する部分の出現回数を数える変数Counterの値を０に初期化する
   2. SourceTextの比較開始位置を先頭から順に1文字ずつ後ろにずらしながら、その比較開始位置から始まる長さPatlenの文字列とPatternが一致するかどうかを調べ、一致したら出現回数Counterの値に1を加算する。
   3. Counterの値を返す
2. 文字列は、文字型の配列の各要素に1文字ずつ格納されている。また、各配列の添え字は０から始まる。

　[プログラム]

　　〇整数型：MatchCounter(文字型の配列：SorceText, 整数型：Textlen,

文字型の配列：Pattern, 整数型：Patlen)

　　　整数型：Counter,i ,j ,k

　　　論理型：Matchflg

　　　Counter ← 0

　　　i ← 0

　　　while( i + Patlen ≦ Textlen )

　　　　　j ← i

　　　　　k ← 0

　　　　　Matchflg ← true

　　　　　/\* Patternと一致する部分があるかチェック \*/

　　　　　while( ( k ＜ Patlen ) and ( Matchflg ＝ true ) )

　　　　　　　if( 　　　　　 )

　　　　　　　　　j ← j ＋ １

　　　　　　　　　k ← k ＋ １

　　　　　　　else

　　　　　　　　　Matcflg ← false

　　　　　　　endif

　　　　　endwhile

　　　　　/\* Patternと一致する部分があれば出現回数に1を加える \*/

　　　　　if( k ＝ Patlen )

解答群

ア　SourceText[i] ＝ Pattern[k]

イ　SourceText[k] ＝ Pattern[i]

ウ　SourceText[j] ＝ Pattern[k]

エ　SourceText[k] ＝ Pattern[j]

　　　　　　　Counter ← Counter ＋ 1

　　　　　endif

　　　　　i ← i ＋ １

　　　endwhile

　　　/\* 出現回数を返す \*/

　　　return Counter